

## < 目次 >

<挨拶>-----	1
-----------	---

### 第1章 ラルゴと IPtalk

(1) パソコン要約筆記の歴史と IPtalk から見た近年の動向-----	1
(2) パソコン要約筆記サークル「ラルゴ」-----	2
1) ラルゴの活動領域のイメージ-----	3
2) ラルゴが目指す将来のパソコン要約筆記のイメージ-----	4
(3) IPtalk の変遷-----	4

### 第2章 パソコン要約筆記の特性

#### 1 パソコン要約筆記の「入力」

(1) パソコン要約筆記モデル-----	7
1) 要約筆記とは-----	7
2) 話を聞いて理解すること-----	8
3) 文処理と通訳の分類-----	10
4) 要約筆記の情報処理モデル-----	11
5) キー入力の思考への影響-----	11
(2) 2人入力の思考作業-----	13
1) 1人入力と2人入力の違い-----	13
2) 2人入力の擬似的な「ポーズ」-----	15
3) 思考作業の負担軽減-----	17
(3) パソコン要約筆記の初心者に推奨する入力方法-----	19

#### 2 パソコン要約筆記の「要約」

(1) パソコン要約筆記の「要約方法」の分類-----	19
1) 話し言葉の校正-----	20
2) 「ケバ取り」(削除、省略、文末処理など)-----	22
3) 言葉の置き換えと省略-----	23
4) 後続文の吸収-----	23
5) 後続文の意味の合併(追加)-----	24
6) 情報の優先度付けからの選択的伝達-----	24
7) 「時系列文処理」「1文中の処理」との対応-----	25
(2) 奉仕員養成講座テキストの分類との対応-----	25

1) 「骨格法」「凝縮法」の文処理の違い	26
2) 「骨格法」「凝縮法」の例題の分析	27
3) 「骨格法」「凝縮法」の「聞いている時間」「表示タイミング」	29
4) 奉仕員養成講座テキストの分類との対応	31
(3) 手書き要約筆記の分類との対応	31
1) 手書きのみで行われる要約の手法	31
2) 手書きの要約方法との対応	33
1. 「話しことばの要約」の分類	33
2. 「要約の技術－話しことばの要約Ⅱ」の分類	35
3. 「話しことばの要約」「要約の技術－話しことばの要約Ⅱ－」の分類との対応	38
(4) パソコン要約筆記の初心者におすすめする要約方法	39

### 3 要約度と表示速度

(1) 全文入力と要約入力について	40
1) 入力法の分類	40
2) 表示文字速度と要約度、2入力の目指したものは	41
3) 受信効率の考慮	43
(3) 利用者の要約筆記的補完理解	45
(4) 要約度と入力の安定性	46
1) 外乱に強い要約度	46
2) 要約度と入力速度の実例	47
1. 99年国際ワークショップでの要約度	47
2. 03年京都市聴覚言語障害センターでの要約度	48
(5) 要約度と入力方法の関係	49
(6) 要約度と表示の即時性	50
(7) パソコン要約筆記が逐語文入力(全文入力)に走る理由	51
1) 「1文を分割して入力する」連携方法	51
2) 黎明期における多人数入力のトライ	52
(8) パソコン要約筆記の初心者におすすめする要約度と入力速度	53

### 4 訂正の方法について

(1) 正確さと表示文字数の関係	54
(2) 訂正遅れと表示遅れ	55
(3) 初心者におすすめする訂正方法	56

### 5 この章のまとめ

追記	57
----	----

### 第3章 要約筆記奉仕員養成カリキュラムについて

(1) パソコン要約筆記の講習会とは、何を教えているのだろうか？	58
1) 初心者の種類	58
2) 必要な技能・知識とは	60
3) キー入力の習熟度について	61
(2) 講習会では、どのような順番で教えているのか？	62
1) サークル内の講習会	62
2) 厚生労働省の要約筆記奉仕員養成カリキュラムに準拠した養成講座	64
3) 厚生労働省カリキュラムへの対応案	65
1. 「受講に条件をつける場合」	65
2. 「タッチタイプの講習を追加する場合」	67
(3) 実態に合わせた養成方法の提案	67

### 第4章 厚生労働省カリキュラム準拠の講習会での IPtalk

#### 1 厚生労働省カリキュラムで IPtalk を使った「パソコン実技」

(1) IPtalk を使った厚生労働省カリキュラムのパソコン実技の案	69
1) 基礎課程 選択科目 パソコン実技 パソコンの取扱とシステムの知識 2時間	69
2) 基礎課程 選択科目 パソコン実技 タッチタイピング 2時間	72
3) 基礎課程 選択科目 パソコン実技 要約と入力のチームプレー 2時間	74
4) 基礎課程 選択科目 パソコン実技 一人での要約入力方法 2時間	76
5) 基礎課程 選択科目 パソコン実技 現場実習 6時間	77
6) 応用課程 選択科目 パソコン実技 入力向上と正確なタイピング 2時間	78
7) 応用課程 選択科目 パソコン実技 正確な聞取り要約 2時間	79
8) 応用課程 選択科目 パソコン実技 二人で入力する方法 2時間	80
9) 応用課程 選択科目 パソコン実技 多様なニーズへの対応 6時間	82
9-1) 「講義、講演等の場面」の時間割の例(太字は実習)	83
9-2) 「会議、パーティー等の場面」時間割の例(太字は実習)	83
9-3) 「その他大会等の場面」時間割の例(太字は実習)	84
10) 応用課程 選択科目 パソコン実技 現場実習 4時間	85

### 第5章 IPtalk9J 1

(1) 厚生労働省カリキュラムで IPtalk を使う時の問題点	87
(2) 講習会で教える機能	87

(3) IPtalk9Jの開発	91
-----------------	----

## 第6章 IPtalk9Jを使った模擬講義

### 1 「2人で入力する」の模擬講義

(1) IPtalkの操作説明	92
1) 「2 初めてIPtalkを使う」	92
2) 「3-1 パートナーを設定する」	92
3) 「3-2 2人入力の困難さ」	92
4) 「3-3 連携方法の分類と具体的な方法」	93
1. 「A1) 1文章と決めておく方法」	93
2. 「A2) 時間と文字数を目安にする方法」	93
5) 「IPtalkを使った2人入力の方法」	93
1. 「A) 行を連結して表示する」	93
2. 「B) 入力文の表示位置の表示」	93
3. 「C) 入力してから前に改行を入れる」	94
(2) 入力練習	94
1) 入力練習の方法に慣れる(入力環境のチェック)	94
1. 入力部に溜める時間の指定	94
2. 入力部に溜める文字数の指定	94
2) 練習する要約方法の説明	95
3) 「話し言葉の校正」の入力練習	95
1. 「話し言葉の校正」の例題	96
2. 正解文と解説	96
3. 入力練習(復習)	100
4) 「ケバ取り」の入力練習	100
1. 単語登録	100
2. 表示文字速度の警告	100
3. 「ケバ取り」の例題	101
4. 正解文と解説	101
5. 入力練習(復習)	104
(3) 入力実習のポイント	104
<まとめ>	105
<謝辞>	105
<参考文献>	105
<おわりに>	106